



公益財団法人 東京都環境公社

Tokyo Environmental Public Service Corporation

環境先進都市東京の実現を目指して

事業案内 2017



すべては快適な都市環境を育む

ごあいさつ

当社は、東京の環境行政を支援する公益法人として、廃棄物の適正処理と資源循環の推進、スマートエネルギー都市の実現、自然環境の保全の分野を中心に様々な活動を実施しております。さらに、東京都環境科学研究所が、都市環境の改善・向上に資する調査研究活動に取り組んでおります。

これらの活動を通して、都が目指す環境先進都市東京、持続可能な都市東京の実現の一翼を担ってまいります。

今年創立55年目を迎える当公社に、皆様のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



公益財団法人
東京都環境公社

理事長 影山 竹夫



東京都環境科学研究所

都市環境の改善・向上のための調査研究

ために

概要

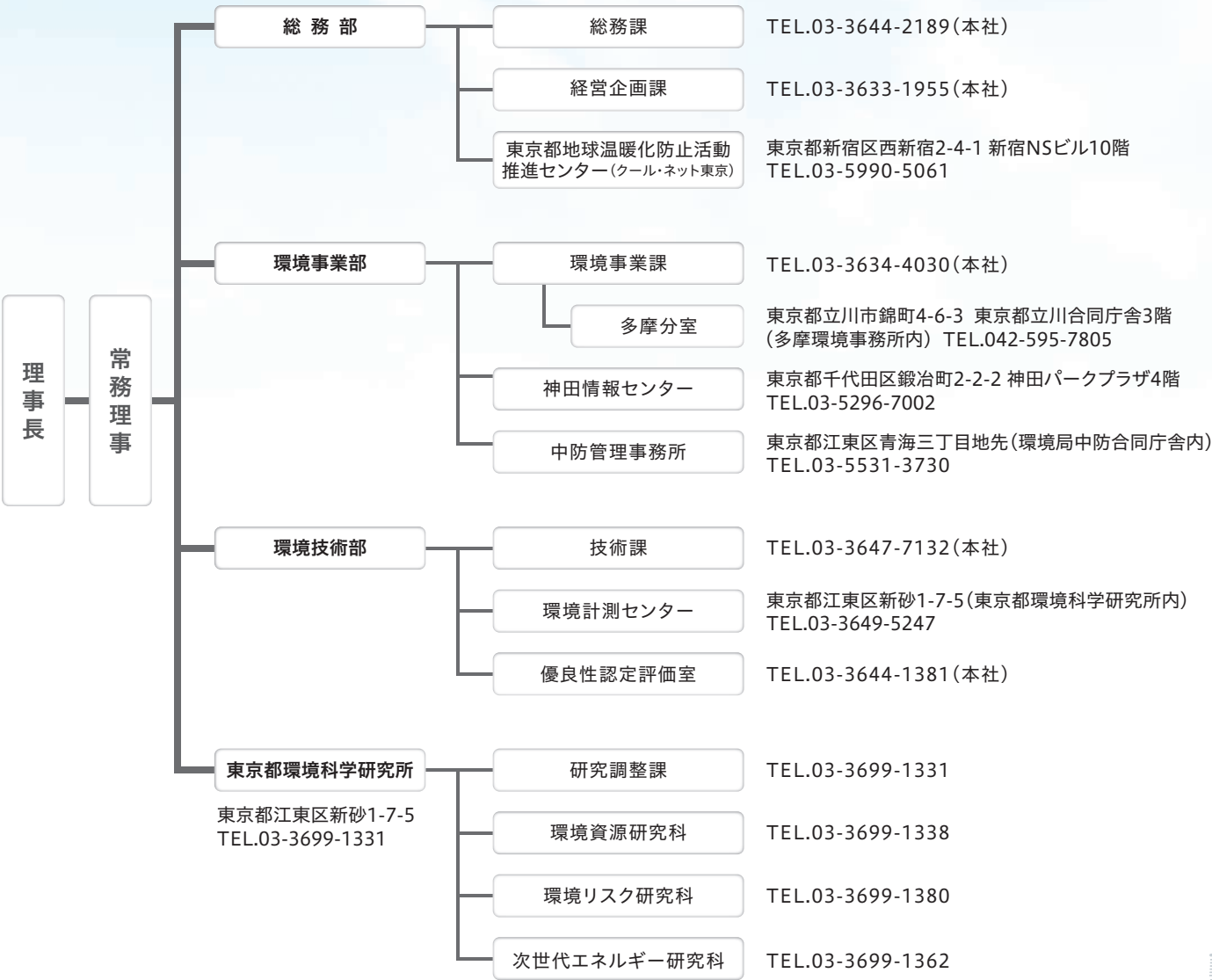
名 称	公益財団法人 東京都環境公社
所 在 地	東京都墨田区江東橋四丁目26番5号
設立年月日	昭和37年5月14日
評議員会 評議員	9名
代 表 者 理事長	影山 竹夫
役 員	理事6名 監事2名
職 員 数	370名(平成29年4月現在)
基本財産	3億5千6百万円
事業規模	65億7997万円(平成29年度予算)

沿革

昭和37年5月	(財)東京都環境整備事業協会設立
昭和48年12月	(財)東京都環境整備公社に社名変更
平成17年4月	地球温暖化対策推進ネットワーク事業開始
平成19年4月	東京都環境科学研究所 東京都より移管
平成20年4月	東京都地球温暖化防止活動推進センター事務所開設
平成21年4月	中央防波堤外側処分場関連事業の包括受託開始
平成21年8月	東京都知事より優良性基準適合認定制度第三者評価機関の指定を受ける
平成22年8月	本社を墨田区江東橋四丁目26番5号に移転
平成24年4月	公益財団法人 東京都環境公社に社名変更(公益財団法人へ移行)
平成27年4月	多摩分室開設(自然環境の保全等事業及び浄化槽法定検査事業開始)
平成28年7月	水素情報館「東京スイソミル」開設

業の許可等

- ・産業廃棄物処分業 第13-20-002246号
- ・東京都地球温暖化防止活動推進センター 東京都知事指定
- ・優良性基準適合認定制度第三者評価機関 東京都知事指定
- ・浄化槽法指定検査機関 東京都知事指定





スマートエネルギー

スマートエネルギー都市の実現に向けて

中小規模事業所の温暖化対策を支援

省エネルギーに関する経験豊富な診断員が都内の事業所に伺い、事業所の特性に応じたエネルギーコスト削減の提案を無料で行っています。また、業界団体の協力のもと、個々の業種の特徴に応じた省エネの具体事例をまとめたテキストを作成しています。さらには、初心者でも容易に取り組める省エネ対策をアニメ動画で配信しています。

この他、事業者等のエネルギー利用の効率化・最適化を促進する助成金事業も実施しています。



アニメで分かる省エネルギー対策



地球温暖化対策報告書制度リーフレット



業種別省エネルギー対策テキスト

家庭の低炭素なライフスタイルを支援

東京都に登録された「家庭の省エネアドバイザー」が、各家庭や自治体・町会等を訪問し、省エネ対策のアドバイスをを行います。また、家庭の省エネ対策を紹介する家庭の省エネハンドブックの作成や省エネアドバイザー育成のための研修等を行っています。

さらに、省エネセミナーの開催やイベント出展等を通じて地球温暖化の現状や具体的な省エネ事例を紹介し、省エネ活動を支援しています。この他、既存住宅やマンション等への助成金事業も実施しています。



イベントでの普及広報活動



家庭の省エネハンドブック

再生可能・水素エネルギーの普及促進

太陽光発電でスマートフォン等が充電できる「シティチャージ」のモデル設置や、太陽光発電等に適した屋根が一目で分かる「東京ソーラー屋根台帳」の公開を行っています。また、FIT電気を供給するモデル事業を行っています。

さらには、水素社会の実現に向けて、燃料電池自動車の普及や水素ステーションの整備に対する助成金事業を実施するとともに、平成28年度に開設した水素情報館「東京スイソミル」において水素エネルギーに関する普及啓発を行っています。



東京ソーラー屋根台帳
(ポテンシャルマップ)

カフェにモデル設置した
シティチャージ



東京都地球温暖化防止活動推進センターとは？ 愛称:クール・ネット東京

東京における地球温暖化防止活動の拠点として、東京都や区市町村等と連携して普及啓発に取り組むとともに、都民や中小事業者の皆様の地球温暖化防止の取組や省エネ対策を支援しています。



自然環境

東京の自然をもっと豊かに、もっと身近に

ボランティアの人材育成

森林・緑地保全活動情報センター「里山へGO!」を運営し、保全活動希望者とボランティア団体等とのマッチングを図っています。さらに、保全活動未経験者でも参加しやすい体験プログラムを提供することで新たなボランティア人材の掘り起こしと定着を図っています。

また、幅広い層の都民に自然環境への関心を高めてもらうため、企業、NPO及び大学等と連携した東京グリーンシップ・アクション及び東京グリーン・キャンパス・プログラムを実施しています。



保全地域体験プログラム

東京グリーンシップ・アクション



保全地域の維持管理

都民の大切な財産である保全地域の良好な自然を、将来にわたり引き継いでいくため、支障木・危険木等の伐採及び剪定、保護柵や看板等の補修といった植生や施設の管理業務を行うとともに、講習会の開催、保全活動に使用する消耗品の貸与・支給等のボランティア団体への活動支援業務を行っています。



保全地域の風景



環境学習

「エネルギー」「廃棄物」「自然環境」など、私たちが住む地球には様々な環境課題が存在します。東京都環境公社では、各課題に様々な角度から取り組むとともに、都民のみなさんに環境対策について知っていただく機会を数多く用意しています。

水素の可能性を知ろう!



水素の力で生まれ変わる未来を見て、触って、体験できる学習施設、水素情報館「東京スイソミル」を運営しています。

里山に行こう! 触れよう!



森(雑木林)の手入れや田んぼの活動、自然観察、クラフト体験などの里山活動を行っています。

廃棄物の行方を追って理解しよう!



ごみの排出を抑制していくこと、資源を有効に使うことの大切さを理解してもらうため、埋立処分場関連施設の見学を実施しています。

地球の未来は“おうち”から守ろう!



家庭の省エネアドバイザー派遣や省エネハンドブック作成のほか、講師派遣、環境学習ツールの貸し出しを行っています。

環境を楽しく学べる
多彩な取り組み

このほか、小学校の先生を対象に、教科学習に沿った環境学習プログラムを紹介し、体験していただく環境教育研修会や、都民を対象として、様々なテーマで環境について楽しく学び、考えるテーマ別環境学習講座なども実施しています。





資源循環

良好な都市環境を次世代に継承するために

廃棄物の適正処理と都市環境の保全

中央防波堤外側埋立処分場及び新海面埋立処分場の延命化に向けて、受入指導や覆土作業等の埋立処分作業のほか、場内の環境保全作業を行っています。また、地域に親しまれ、美しく、魚が住めるきれいな川の実現に向け、都内30河川の清掃を行い、都市環境の保全に寄与しています。

さらに、都内の中小企業者等が所有する変圧器等の微量PCB廃棄物の処理費用の一部を助成する事業や、医療廃棄物の処理を追跡管理する等、廃棄物の適正処理を推進しています。



中央防波堤新海面埋立処分場での作業



コンベア船による河川清掃作業

廃棄物処理施設の運転管理と技術支援

不燃ごみ処理センターや臨海副都心地域のごみ管路輸送収集システムの運転管理、清掃工場に設置されている排ガス分析計や水質分析計等の環境計測器の保守点検業務を行い、都内の円滑な廃棄物処理の実現に貢献しています。

また、廃棄物処理技術の知識・ノウハウを活用しながら、地方自治体等の依頼に基づき、公益的な立場で廃棄物処理施設の維持管理や施設の整備計画に伴う技術支援等を行っています。



中防不燃ごみ処理センター



自治体等のニーズに応じた点検作業を実施



あらゆるメーカーの様々な機種を点検

資源の循環利用及び適正処理に関する事業

都内の区市の家庭から排出される粗大ごみ及び家電リサイクル法の対象品目について、収集の受付を行っています。

また、産業廃棄物の適正処理に向けて、排出事業者及び処理業者を対象とした講習会やセミナーを開催しています。



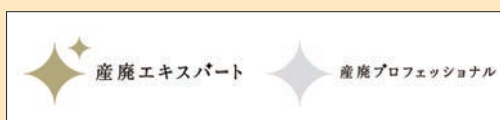
神田情報センター



産業廃棄物の適正処理に向けた講習会

産業廃棄物処理業者優良性基準適合認定制度事業

「東京における産業廃棄物処理業者の適正処理・資源化の取り組みに係る優良性基準適合認定制度」の第三者評価機関として審査・評価を行い、優良な産廃処理業者を認定しています。



優良事業者に与えられるロゴマーク

国際協力プロモーション事業(資源循環分野)

東京都が実施する資源循環分野における国際協力事業の事務局として、アジアを中心とした大都市共通の課題を協働で解決するために、廃棄物処理・リサイクルに関する東京の経験・技術を活用し、研修事業、視察受入、情報収集を行っています。

資源分別ワークショップ
(ヤンゴン市交流)





東京都環境科学研究所

東京の環境の改善・向上に向けて

研究所の役割

東京都環境科学研究所は、以下の3つの役割を柱に研究活動を実施する公的試験研究機関です。

環境施策の展開を支える	東京都の環境行政に資する調査研究を実施し、東京都の環境施策の展開に必要な科学的知見を提供します。
産学公との連携	研究等の実施に当たっては、大学や他の研究機関、民間等との連携を進めます。
幅広い環境研究	国や民間等からの外部資金を活用し、東京の環境の改善・向上に資する幅広い研究等を行います。

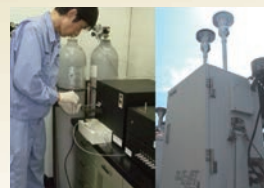
調査研究

東京都からの受託研究や首都大学東京等との共同研究、国・民間企業からの外部資金を活用しての研究など、東京都の環境行政に資する調査研究を実施しています。

- ①自動車環境対策の総合的な取組に関する研究
- ②都市ごみ処理プロセス中の資源管理・都市ごみ中の有害物質の管理手法に関する研究
- ③微小粒子状物質の濃度低減等に関する研究
- ④有害化学物質の分析法・環境実態の解明に関する研究
- ⑤水環境の保全に関する研究
- ⑥東京都におけるヒートアイランド現象等の実態に関する研究
- ⑦水素蓄電を活用したまちづくりに向けた調査



大型車用シャシダイナモメータ



PM2.5測定装置と分析



有害化学物質の分析



海水採取調査

技術支援

自動車排出ガス試験、分析精度管理、都及び区市町村担当者を対象とした技術研修などの技術支援を行っています。

- ①自動車排出ガス試験
- ②行政検体の精度管理
- ③都及び区市町村の職員への技術支援
- ④国際環境協力に関する技術支援

研究成果及び環境情報の提供

公開研究発表会、年報、学会発表、研究所ニュース等で研究成果を発信するほか、都民向けに施設の一般公開、見学・視察の受入れを行っています。

また、資料室には約13万冊の環境関連の蔵書があり、開架式で貸出も行っています。



平成28年度公開研究発表会

水素情報館 東京スイソミル Tokyo Hydrogen Museum

水素の力で生まれ変わる未来を見て、触って、体験できる学習施設

平成28年7月にオープンした、水素情報館「東京スイソミル」は目に見えない水素のことや水素社会の将来像を見て触って体験しながら学べる学習施設です。1階の展示室はキャラクターと一緒に体験やクイズをしながら、水素エネルギーについて学びます。2階では自転車を使った水素の製造・発電体験や実物の水素関連製品に触れることもできます。さらに、外では燃料電池自動車を展示し、家電等を動かすデモも実施しています。その他にも、講習会やセミナー等多様な利用が可能な講義室が完備されています。



住所/東京都江東区潮見1-3-2
電話/03-6666-6761
開館時間/9:00~17:00(最終入館16:30)
休館日/月曜日、年末年始(12月28日~1月4日)
※月曜日が祝日の場合は開館し、翌日休館
アクセス/・JR京葉線 潮見駅 徒歩8分
・東京メトロ 有楽町線 辰巳駅 徒歩20分
・都営バス 錦13乙(錦糸町⇄深川車庫)
潮見一丁目下車徒歩1分



事業所のご案内

公益財団法人東京都環境公社 (本社)



東京都墨田区江東橋4-26-5
東京トラフィック錦糸町ビル8階
・JR総武線 錦糸町駅 徒歩1分
・東京メトロ 半蔵門線 錦糸町駅 徒歩1分
・都バス 錦糸町駅(南口) 徒歩1分

東京都地球温暖化防止活動 推進センター(クール・ネット東京)



東京都新宿区西新宿2-4-1
新宿NSビル10階
・JR新宿駅 西口 徒歩7分
・都営地下鉄新宿線 京王線 新宿駅 徒歩6分
・都営地下鉄大江戸線 都庁前駅 徒歩3分

東京都環境科学研究所



東京都江東区新砂1-7-5
・東京メトロ 東西線 東陽町駅3番出口 徒歩10分

中防管理事務所 (環境局中防合同庁舎内)



東京都江東区青海三丁目地先
・東京臨海高速鉄道 東京テレポート駅
またはゆりかもめ
テレコムセンター駅より都バス 中央防波堤行き
環境局中防合同庁舎前下車



リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



公益財団法人 東京都環境公社

Tokyo Environmental Public Service Corporation

☎03(3644)2189

<https://www.tokyokankyo.jp>

